

# 提 案 概 要

実 施 期 日	7月29日(火) 【午前】
部 会 名	小学校 体育部会

**1 提案テーマ** 運動の楽しさを味わい、意欲的・自主的に実践する力を身に付ける体づくり運動を目指して

**2 単元(題材)** 体づくり運動「体力を高める運動」

**3 学年** 第5学年

**4 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり**

②運動に親しむ資質や能力及び体力向上を目指した指導と評価の工夫

**5 学習指導要領との関連(内容項目)**

第2章 第9節 第2 各学年の目標及び内容〔第5学年及び第6学年〕 2内容 A体づくり運動

(1) 次の運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、体力を高めることができるようにする。

イ 体力を高める運動では、ねらいに応じて、体の柔らかさ及び巧みな動きを高めるための運動、力強い動き及び動きを持続する能力を高めるための運動をすること。

(2) 運動に進んで取り組み、助け合って運動をしたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

(3) 自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫できるようにする。

**6 実践に向けての課題意識**

本学級の児童は、いつも体育の授業に率先して取り組む姿が見られる。しかし、今までの授業を振り返ってみると、マット運動では体が固く、滑らかな動きができなかったり、ボール運動では投げ方がぎこちなかったりする児童が多く見られた。また、休み時間に校庭で遊ぶ児童と教室で遊ぶ児童の数は半々ぐらいで、特に女子は校庭で遊ぶことが少なく、教室でおしゃべりや手遊びをしていることが多い。

本単元の「体力を高める運動」は、休み時間や学校から帰っても取り組める運動がたくさんある。運動を自主的・実践的に取り組む力を身に付けるためにも、それらの運動を中心に授業展開を考えた。

また、2年間を通しての単元と考え、5年生ではまず様々な運動を経験させ、6年生での発展性をもたせた指導へとつなげていきたい。

**7 実践の概要**

①休み時間にも児童ができる運動を取り入れる。

②個人でなく複数でできる運動を取り入れ、友達と協力したり競争したりすることで興味、関心を高める。

③2年間を通しての単元と考え、5年生ではまず様々な運動を経験させ、6年生で発展性をもたせる。

④毎時間、授業の終わりに個別の学習カードを使い「技能」「態度」「思考・判断」等の自己評価を行う。

**8 成果と課題**

○長なわ跳びを中心に、休み時間に外で遊ぶ女子が増えた。

○動きが単純であったり、繰り返しの運動が多かったりしたが、ゲーム性を持たせることで、児童の興味や関心を持続させることができた。

○自己評価では、動きのポイントを書かせたことで、次の授業でそのポイントを活かそうとする児童の姿が見られた。

◇初めての運動領域ということもあるが、全体的に運動の行い方についての指導が多かった。

◇教師との対話の中で運動のポイントについて気付くことはあったが、子ども同士で運動のポイントについて考え合う場面の設定ができなかった。

**9 予想される協議の柱**

・学習意欲を高める「体力を高める運動」の学習指導の在り方